

5/18 十和田の食材を給食で味わう  
おいしいね！バイキング給食

市立南小学校（馬場泰裕校長）で十和田市産の食材を使ったバイキング給食が行われました。この給食は、市が地産地消や食育促進、地元食材のPRなどを目的にとわだ産農産物などの食材を提供したもので、同校6年生102人がこの給食を味わいました。外館美楽くんは「焼きちゃんぽん米粉うどんがおいしくて、おかわりしました。また食べたいです」と話しました。この給食は、南小学校を皮切りに市内各小学校などで行われます。



主食・主菜・副菜・果物・デザートに分類されたメニューの中から取り分けて味わいました

4/27 奥入瀬渓流を多くの人に知ってほしい  
切手『遊歩道からの奥入瀬渓流』販売

日本郵便株式会社東北支社青森県東部地区統括局の橋本憲章局長らが市役所を訪れ、オリジナルフレーム切手『遊歩道からの奥入瀬渓流』の販売を開始したことを報告し、フレーム切手を小山田市長に贈呈しました。これは観光客の要望に応えたもので、万両の流れや阿修羅の流れなど、四季折々の遊歩道の見どころが題材となっていて、最近注目されているコケ玉もあります。フレーム切手は、郵便局の販売窓口で購入できます。



日本郵便株式会社東北支社青森県東部地区統括局を代表して、4人の局長が市役所を訪れました



5/5 駒っこランドで『親子で楽しむ花育』  
カラーサンドアート教室開催

駒っこランドで、全国花育活動推進協議会花育アドバイザーの山崎俊幸さんを講師に迎え、『親子で楽しむ花育！カラーサンドアート教室』が開催されました。市内外から10組の親子が参加し、思い思いのカラーサンドアートを作製しました。参加者らは完成した作品を見て、「楽しかった。次はもっとうまく作りたいので、またやりたいです」と笑顔で話しました。

自分の好きな色の砂を器に敷き詰めていきます。カラフルな作品に心も和みます



オープニングセレモニーでは、沢田っ子鶏舞の皆さんが市指定文化財の『沢田鶏舞』を披露しました

4/18 開催中  
アートで遊ぼう！  
『ジャンプ～アートにみる遊びの世界～』

現在、現代美術館では、企画展『ジャンプ～アートにみる遊びの世界～』が開催されています。同展には、『ファット・カー』の作者でもあるエルヴィン・ヴルムさんの1分間彫刻など、無限の創造性に向かってジャンプし続ける芸術家たちの遊び心たっぷりの作品が並び、実際に手に触れ、聞き、体感することができます。会期中の8月30日(日)までは、さまざまな関連イベントが行われます。

5/1 『郷土を愛する心・日本一』を目指して  
ふるさとクリーンウォーク作戦！

法興小学校（蛸名祐一校長）が、『郷土を愛する心・日本一』を目指した教育活動の一環で、清掃活動を行いました。1、2年生は学校から歩きながら用水路と、ろまんパークのごみ拾い。3年生以上は、石ヶ戸でヤマメの稚魚1万1千匹を放流し、子ノ口まで奥入瀬渓流のごみを拾いながら歩きました。その後、遊覧船で休屋へ移動。十和田湖小学校の児童8人と対面し、合同で休屋地区の清掃活動を行いました。



休屋で両校そろっての記念撮影。行き交う旅行者にも元気にあいさつをしました

Pick Up  
5月4日は稲生川の誕生日  
稲生川上水記念『太素祭』開催

5月3日から5日にかけて太素塚で『太素祭』が行われました。境内では、北園小学校、十和田中学校、三本木高校の各吹奏楽部の演奏や琴、太鼓演奏などのステージイベントが行われ、会場を沸かせました。北園小学校吹奏楽部の宮本宇海さん（6年）は「緊張したけど楽しかった。練習の成果が出せたので満足です」と話しました。



【ステージイベント】練習の成果を発揮した北園小学校吹奏楽部の皆さん

4/29 艶やかに官庁街通りを闊歩  
さくらになり帯

八郷らくらく会が結成した『さくらになり帯』が和装で官庁街通りを歩き、三本木小唄の流し踊りを披露しました。三本木小唄が流れると、観光客らも見よう見まねで一緒に踊ったり、写真に収める姿が見られました。桜の花はほとんど散っていましたが、『さくらになり帯』の流し踊りは観光客の目を引き、官庁街に鮮やかな色を添えました。



『さくらになり帯』が三本木小唄を踊ると、沿道から大きな拍手が送られました。



【太素ウォーク】A・Bコースは稲生川取水口から出発。爽やかな汗をかきました